

令和元年度 病害虫発生予察 警報第1号

令和元年9月11日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部長

トビイロウンカについては、令和元年8月7日付けで注意報を発表しましたが、増殖源となる短翅型雌成虫の生息密度が著しく高まっており、今後広域で被害が発生することが予想されます。

本年は、防除を実施した圃場においても本虫の加害による坪枯れが発生する可能性がありますので、圃場内を確認のうえ生息密度の高い圃場では直ちに防除を実施しましょう。

- 1 対象病害虫 トビイロウンカ
- 2 対象作物 普通期水稻
- 3 対象地域 県内全域
- 4 発生面積 多い
- 5 発生量 多い

6 警報発表の根拠

- (1) 9月4日の農林水産研究指導センター内予察圃場における調査では、成幼虫数は25株あたり245.3頭で平年の8.0頭を大きく上回っている。
- (2) 9月6日～9月9日の巡回調査では、県内40圃場中35圃場で発生を確認した。また、短翅型雌成虫は27圃場(67.5%)で確認され、平年(15.1%)より多く、坪枯れの多発した平成25年度以来の高密度となっている。

普通期水稻における発生状況(微発生を含む)
発生圃場率：87.5%(平年：40.0%、H25：65.4%)
株当たり虫数：2.0頭(平年：0.3頭、H25：0.4頭)
※H25は本虫による警報が発表された年

- (3) 新規需要米ですでに坪枯れが発生しており、被害程度の大きい地域も確認されている(振興局調べ 図1)。
- (4) 本年度は、6月下旬、7月中旬、7月下旬に本虫が中国大陸から断続的に飛来していると考えられる。調査で確認された本虫は異なる生育ステージが混在しており、上記飛来分の第2世代成虫および第3世代幼虫と考えられる。
- (5) 気象予報によれば、向こう1か月(9/7～10/6)の気温は平年より高い確率が60%と予想されており、本虫の密度が急速に高まることが懸念される。

7 防除上注意すべき事項

- (1) 現在発生が少ない圃場でも今後の気象条件によっては増加する可能性があるため、圃場での発生状況を確認し、短翅型雌成虫が10株あたり2頭以上(要防除水準)を超える場合や、8月中旬から下旬に成幼虫数が1頭/株以上生息していた場合は、直ちに防除を行う。
- (2) 6月下旬飛来分の防除適期である第3世代若齢幼虫の発生時期は、9月中下旬と考えられる。十分な防除を実施していない圃場や、既に多発生が確認されている圃場もあるので、手遅れにならないよう、直ちに防除を実施する。
- (3) 本虫は株元に生息する(図2)ので、薬剤が株元に到達するように注意する。また、畦畔よりも水田の中央部に発生しやすいので水田内をよく確認する。

(4) 坪枯れが発生した圃場では可能な限り収穫を早めて、倒伏に伴う減収を防ぐ。収穫までに期間がある場合は、薬剤の収穫前日数に注意しつつ、早急に防除を行う。

(5) 基幹防除を実施しても密度が低下しにくい場合もあるので、9月下旬まで注意を怠らないようにする。また、栽培期間の長い晩生品種、もち品種、新規需要米等は被害が拡大する傾向があるので発生状況を確認する。

(6) 防除薬剤は、大分県農林水産研究センター農業研究部病害虫チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照し、収穫期の近い水稻では農薬使用基準（使用時期、使用回数等）に注意する。
（ホームページアドレス <http://www.jppn.ne.jp/oita/>）



別表 トビイロウンカの防除薬剤

	商品名	濃度・量	使用回数	備考（散布）	散布適期
収穫7日前 まで散布可能	アプロード水和剤	1,000~2,000倍	4	60~150% [※] /10a 幼虫	9月中旬
	アプロードバッサ粉剤DL	3~4kg/10a	4		
	アルバリン粉剤DL	3kg/10a	3		
	アルバリン顆粒水溶剤	3,000倍	3	60~150% [※] /10a	
	エルサンバッサ粉剤20DL	3~4kg/10a	2		
	スタークル粉剤DL	3kg/10a	3		
	スタークル顆粒水溶剤	3,000倍	3	60~150% [※] /10a	
	ダントツ水溶剤	4,000倍	3	60~150% [※] /10a	
	トレボン粉剤DL	3~4kg/10a	3		
収穫14日前 まで散布可能	トレボン乳剤	1,000~2,000倍	3	60~150% [※] /10a	
	ベストガード水溶剤	2,000~4,000倍	4	60~150% [※] /10a	
	ベストガード粉剤DL	3~4kg/10a	4		
	MR.ジョーカーEW	2,000倍	2		



図1（令和元年9月4日、東部振興局原図）



図2 株元の生息状況